

都市間連携事業の概要

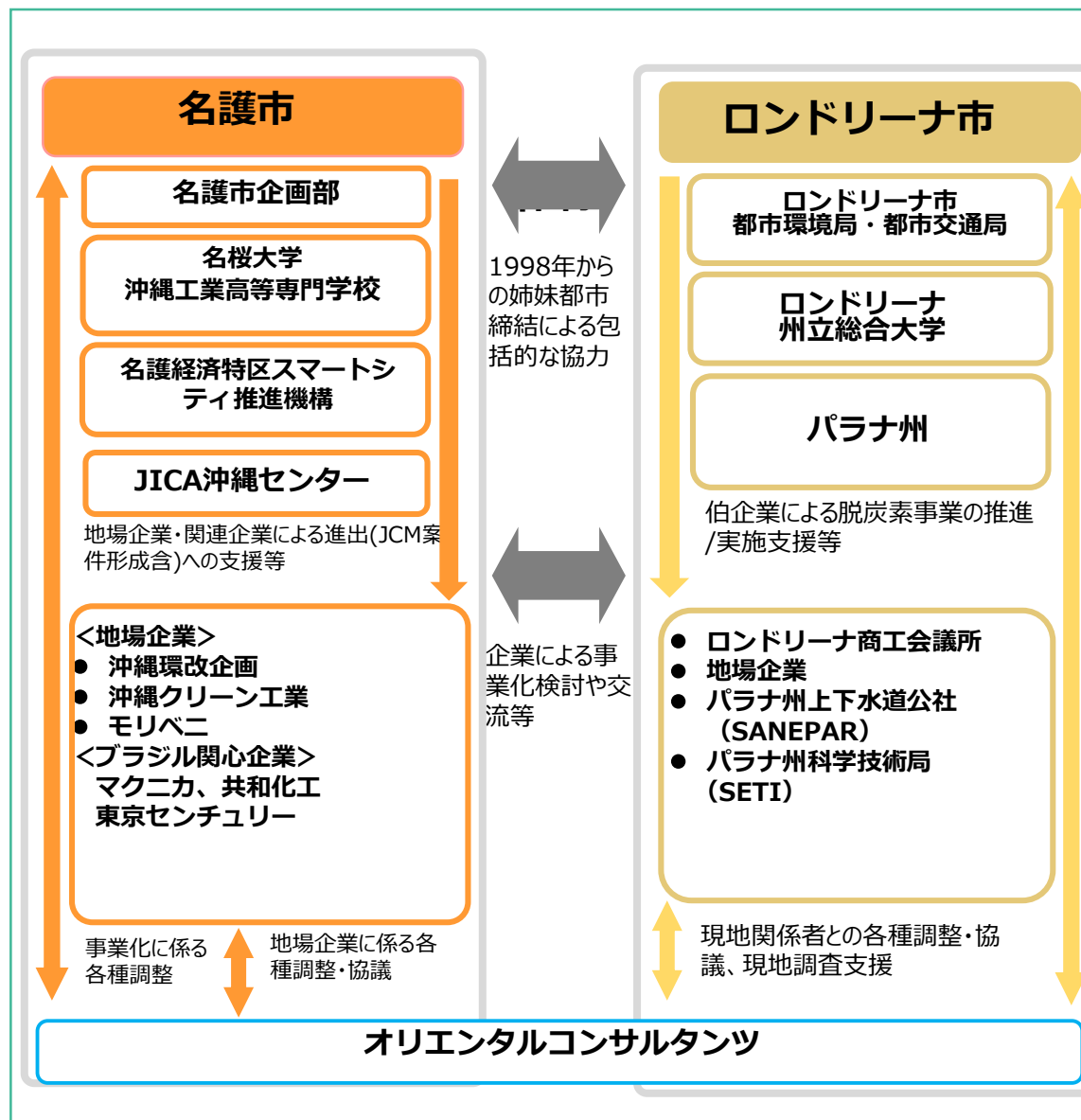
名護市・ロンドリーナ市の都市間連携によるカーボンニュートラル社会構築のための支援事業

事業年次 1-1 国内都市 名護市 海外都市 ロンドリーナ市 受託者 株式会社オリエンタルコンサルタンツ

- 名護市とロンドリーナ市は、1998年からの姉妹都市関係による人的・学術的な交流基盤を活かし、ロンドリーナ市（パラナ州）が抱える有機性汚泥の処理課題解決を通じて、脱炭素社会形成に向けた都市間連携事業を開始する。
- 本事業では、有機性汚泥・農業残渣の資源化を核に、名護（沖縄）の地場・中小企業による本邦技術の展開を促進し、制度構築と事業化を支援する。協力覚書の締結、将来的なJCMや他スキーム等の活用も見据えた環境インフラ導入モデルの確立を目標とする。

実施内容

- 1.ロンドリーナ市・名護市の気候変動対策・脱炭素にかかる知見共有、市長対談の実施
- 2.有機性汚泥の処理方法にかかる検討、燃料（熱）代替事業の可能性調査
- 3.地場・関連企業による本邦技術の展開促進



1. 基本プロフィール

- ・正式名称：ロンドリーナ市（Município de Londrina）
- ・所属：ブラジル連邦共和国 パラナ州（州内でクリチバ市に次ぐ第2の都市）
- ・1930年代にイギリス系企業によって開発が始まりました。地名は「小さなロンドン」を意味します。

2. 人口規模

- ・市内人口：約58万人（2026年、ブラジル地理統計院（IBGE）推計）

3. 気候の特長

温暖湿潤気候で、夏は平均気温が27℃前後まで上がり雨も多くなりますが、日本の夏ほど酷暑にはなりません。冬は平均気温が15℃～18℃程度と非常に過ごしやすい快適な気候です。

4. 日本との深い歴史的つながり

- ・日系ブラジル人：市内に約2万人の日系人が暮らしており、サンパウロ州に次ぐブラジル屈指の日系社会の拠点（北パラナ地方）です。
- ・開拓の祖：1930年にわずか4人の日本人と2人のドイツ人が入植したことから始まった歴史を持ち、日本人移民が未開の原生林を切り拓いて「コーヒーの都」へと発展させました。

5. 日本国内の姉妹・友好都市

沖縄県 名護市（1998年）のほか、兵庫県 西宮市（1977年）



出展：Googleマップ



出展：Googleマップ



街のシンボル：イガポー湖